

泉の自治だより

題字 島崎 成治

No. 125

発行所 泉町連合区
発行責任者 連合区会長 島崎 成治
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中郷町 TEL 55-3653
編集部長 嶺 嶺 健 二

絵手紙 水任会
伊勢三代子



連合会長、各区長、女性部長より泉町の皆様へ 平成29年度の活動を振り返って

成果あり課題ありの一年

泉町連合区会長 島崎 成治

泉町連合区の平成二十九年度が終ろうとしています。会長を仰せつかったこの一年を振り返ってみますと、予想以上の行事の多さと、各種団体の会長、代表、理事などの兼務も重なって戸惑う日々的一年でした。しかし本年度の事業計画も全て何とか無事果たすことができました。常に確かなサポートをしてくれた泉町連合区のスタッフ、そして何よりも町民の皆様方のご理解、ご協力の御陰と感謝しております。

一、大きな成果

何と言っても、泉町連合区活動の一環としての土岐市駅周辺パトロールが昨年九月二十八日、警察庁長官、全国防犯協会長連名での防犯功労団体表彰受賞が一番の成果と考えます。表彰式が東京の明治記念館であり、代表の私と総務の二名で出席しました。日本警察のトップである長官の話や聞近で聴く事ができ大変名誉ある賞を戴いたと思えました。

現在二十団体で二百五十名の泉町民の方が隊員としてパトロールに参加されていますが、今年で十四年目となります。毎年一部の隊員が入れ替わり、これまで本場に多くの泉町民の方にご協力を頂いてきました。決して好しい状況でなかった土岐市駅周辺、夕方になるとどこかともなく改造バイクや車が集まり不良少年がたむろし迷惑を掛けることも多かったのですが、今では安心、安全を再び感じるようになりまし。泉町民の皆様や警察をはじめ関係機関のご協力の賜物だと思っております。これからもご協力よろしくお願いたします。



平成29年全国地域安全運動中央大会
平成29年9月28日 於 明治記念館

二、課題

この一年間においては早急にかしななければいけない問題が、いくつか出てきました。その中でも具体的な取り組みが喫緊と促さずには、泉町民運動会へ不参加の町内会が数年前から急増していること。その理由は、少子高齢化で出場者減少、世帯数の少ない町内会では、役員が多くなる種目に出ることへの苦痛など様々です。男女年齢を問わず参加できる泉町最大のイベントです。日頃近所であつても話す機会が少なくなっている中で、町民運動会が唯一のコミュニケーションの場になることです。今、私達の日本社会は高齢者が増加、核家族化が進むことによる独居高齢者の増加、子供達も合わせて、地域で見守る重要性が高まっています。安全、安心で豊かなまちづくりを目指すには、地域の人々の絆が大切だと思います。

泉町連合区は、今年一月十一日、開催することに黄信号が点いた泉町民運動会について、主催と主管である泉・泉西公民館

主事二名、公民館長二名、泉町体育協会会長、副二名、また自治会側から泉町連合区三名、女性部一名、泉町各区長五名の十五名で意見交換を行いました。これまで運動会は五十九回開催されましたが、初めてのことです。

一年間を振り返って

河合区長 永井 光正

昨年四月慌ただしくスタートした一年も最後の挨拶文を書く時期になりました。

当初夏くらいまでの四ヶ月は会議行事の連続で一つ一つこなして行くのに精一杯という状況でした。

八月ぐらいが過ぎて、ようやく少し余裕がでてきた区の行事も何となく順調に進める事ができるようになりました。

今年の夏祭りの時は、幸い天候には恵まれ、盆踊り大会を執り行う事が出来ましたが、その後天候が台風、雨などが多く大変荒れた天候が続き、一日に二回も避難勧告が出るという日もありました。また土砂災害などは最小限ですみました。全国各地で頻繁に雨による災害がおきるのを見て、とても他人事ではないと思えました。こうした状況のもと、市防災関係機関による自主防災訓練、災害図上訓練、AED講習などを参考にしな

す。私としては、町民のコミュニケーションの機会が減っていくことに危機感を抱いております。たとえ運動会の内容が大きく変わってでも開催されることが

秋には、茸山入礼会が行われ、従来は区歳入の面からも大きなウエイトを占めていた茸山も現在では大きく減少して、区としても、山の現状や天候の変化などを考えることやむをえないと思われま。その対応や新たに収入源を考えるなど今後の課題と思われま。

このような状況の中、この数年の売上金額を維持してきました。十月には、泉町民運動会、河合区八幡神社の秋祭りが行われました。

町民運動会はこの数年不参加する町内会が増えるという現状が続いております。今年も参加町内会の減少となり、公民館、体育協会主導のもと今後のありかたについて意見交換をしました。町民運動会の大きな趣旨としての話を聞き、わかっていたつもりでしたが「はっ」と思いました。参加人

数があるなら、まだ里山風景の残る所がありますが、少子高齢化の進む中、農業の後継問題、人口減少、農地再開発と、今後の課題をもち、災害の少ない住みやすい町づくりへと進めていかねばと思ひます。

最後になりましたが、この一年区役員、女性部また関係機関河合区民の皆様のご支援ご協力には、本当に感謝しております。また区民皆様の健康とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

区会から検討されてきました定林寺東公民館の完成です。国の宝くじ助成金、土岐市からの地域集会所整備補助金も無事承認され、昨年七月より建設に入り本年二月末に完成致しました。助成金申請等で、多大なるご協力いただきました矢島県議員様、建設委員会の皆様、建設に携われた業者の方々、また、建設中の期間、ご迷惑をおかけしました近所の区民の方々には、

一年間を振り返って

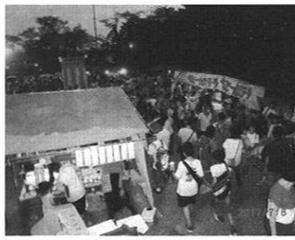
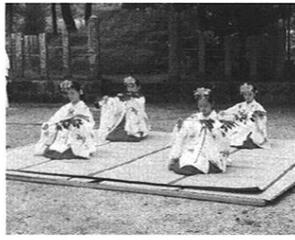
定林寺区長 岩島 健司

早いもので昨年四月に区長を引き受けてから一年が経とうとしております。区の三役は、三人とも区の運営には関しては素人、最初の三ヶ月間は、戸惑いの連続でした。半年が過ぎた頃から、流れが分かってきて、

町内会長さん、女性部の皆さんのご協力をいただき何とか乗り切ってきました。今年度の報告事項として、福祉会館の老朽化と耐震性の問題から、区民のみならず要望されていて三年前の

心より感謝申し上げます。
ご利用は、本年度四月一日からを予定しております。利用方法、管理方法は、現在、使用中の定林寺公民館と同じ条件です。老人会、町内会会議子供会、その他リクリエーションの会、など、区民の皆様の集いの場所としてのご利用をお待ちしております。

区会の行事の一年を振り返りますと、まずもって、天候に感謝いたしました。春の定林寺祭り、春秋の町内清掃、九万九千日祭り、稲荷神社秋祭り、年越し篝火火行事等、全て、晴天に恵まれました。天候ばかりは、どうすることも出来ません。まさに運を天に任せることとなります。特に、九万九千日祭りは、朝から夜まで暑い日でしたが、例年に増して、子供たちが



が多く集まり、金魚すくいには長い列ができ、大盛況でした。
この自治会だよりが皆様のお手元に届きます頃最後のイベントの初午祭餅投げがあります。晴天の暖かい日になることを祈念しております。
昨年度から、小学生の皆さんにお願いしております巫女舞も、すっかり板についてきて稲荷神社の行事を盛り上げてもらっています。是非一度ご覧になってください。
最後となりましたが、定林寺区の皆様方をはじめ副区長、町内会長、女性部役員、関係団体、関係機関の皆様方のご理解とご協力が有り、一年間の行事を執り行うことができました。この紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

が、多く集まり、金魚すくいには長い列ができ、大盛況でした。
この自治会だよりが皆様のお手元に届きます頃最後のイベントの初午祭餅投げがあります。晴天の暖かい日になることを祈念しております。
昨年度から、小学生の皆さんにお願いしております巫女舞も、すっかり板についてきて稲荷神社の行事を盛り上げてもらっています。是非一度ご覧になってください。
最後となりましたが、定林寺区の皆様方をはじめ副区長、町内会長、女性部役員、関係団体、関係機関の皆様方のご理解とご協力が有り、一年間の行事を執り行うことができました。この紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

一年間を振り返れば

大富区長 早川 哲夫

昨年四月に大富区長を仰せつかり、多くの皆様のご協力により無事に役目を終えることができました。心より厚く御礼申し上げます。
一年間と云う短い期間でありましたが貴重な経

験をさせていただき少しは大富地域のことの理解ができるようになったと思っております。
この一年、目新しいことが何も出来なかつたと自分自身反省もしております。

しかしながら、平成二十九年度が無事過ぎようとしております。これもひとえに大富区民の皆さんをはじめ、二区民の皆さん、二十三人の女性部の皆さん、大富山を愛する会の皆さん、子供会の皆さん、などの方々のご理解ご支援ご協力のおかげと感謝申し上げます。
この一年を振り返れば区の重要な行事の夏祭りは、終わりが雨に降られましたが多岐の方々に参加いただき非常に賑わいました。また、女性部による野点、子供会のゲーム、喜楽による太鼓演奏、またサークル青空のバサリ踊り、大富山を愛する会における生ビール振舞いなど多くの催しがありました。大変お世話になりました。

また、年間を通じて明るく安全で住みやすい地域を作るため、朝の通学路での交通安全指導立会い、夕方からの駅周辺でのパトロールを実施しました。
そして、「自分の街は自分で守る」と云う、自助共助の精神に基づき災害時図上訓練(DIG)、

自分を務まるのか。そんな思いの中で、駅前区長を受けさせていただきました。
駅前区三役、女性部の役員皆さんと共に、また、各町内会長さん、神社運営にご尽力いただきました総代さん、多くの区民の皆さんのご理解ご協力をいただき、一年間を終えることに心より感謝申し上げます。
駅前区は十町内ありますが、世帯数は少なく高齢者のみの世帯も少なくありません。自治会の活動、行事にご苦勞されている町内もあると感じられます。そんな現状の中多くの区民に協力いただき本当にありがとうございます。

駅前区に於きましては、幸いなことに今年度は大きな災害、火災もなく、天候にも人にも恵まれ、全ての行事を終えようとしています。
財政面から「祭り」のあり方を見直す中、夏祭り開催の協賛金への協力を皆様にご負担をおかけすると思いつつもお願いいたしましたところ、多くのご寄付をいただきました。また、祭りの準備を進める中で、自治会に(できる範囲で)できる限り協力しよう、と、多くの方々に協力いただきました。

このように祭りや神社行事や地元への伝承行事などは人と人とのつながりを築く役割を果たします。一方、課題も出てきています。一月の出初式の来賓者の方のご挨拶の中で、「毎年団員の追加が減少し…」と述べられ、自治会に於いても、次期役員選考が難しくなっていると感じました。やはり、駅前区でも少子高齢化の波を受けています。今後更に進むであろうこの現象に対し、これに合わせた自治会の活動や行事の見直しが必要だと感じています。しかしながら短期間で解決出来る様な問題ではありません。少子高齢化の時代に対応した自治会のあり方を

を考えたければと思います。この一年間、多くの人と知り合いました。私の母は若い頃婦人会(当時)で仲良くなった友人と今でも会食などで楽しそうに過ごしています。私自身、朝のウォーキングで

草山においては、今年度は二区画のみ対象となり費用の関係上郵便入札を実施した結果、二区画とも落札されました。昨年は、松茸等の収穫が不作でしたが来年度は、三年間の保有期限が到来する号山が七区画あり、入札会が開催される予定であります。この草山は、大富区にとって貴重な財源であり是非ご協力をお願いいたします。
また、年間を通じて明るく安全で住みやすい地域を作るため、朝の通学路での交通安全指導立会い、夕方からの駅周辺でのパトロールを実施しました。

次に、前年度からの引き続き事項の仲森池に発生している「ヒシ」の除去です。様々な方法で道具等も工夫して除去作業しましたが、目立った成果はなく大変苦慮しております。来年度の課題として、引継ぐことが申し願っております。
財政面から「祭り」のあり方を見直す中、夏祭り開催の協賛金への協力を皆様にご負担をおかけすると思いつつもお願いいたしましたところ、多くのご寄付をいただきました。また、祭りの準備を進める中で、自治会に(できる範囲で)できる限り協力しよう、と、多くの方々に協力いただきました。

このように祭りや神社行事や地元への伝承行事などは人と人とのつながりを築く役割を果たします。一方、課題も出てきています。一月の出初式の来賓者の方のご挨拶の中で、「毎年団員の追加が減少し…」と述べられ、自治会に於いても、次期役員選考が難しくなっていると感じました。やはり、駅前区でも少子高齢化の波を受けています。今後更に進むであろうこの現象に対し、これに合わせた自治会の活動や行事の見直しが必要だと感じています。しかしながら短期間で解決出来る様な問題ではありません。少子高齢化の時代に対応した自治会のあり方を

を考えたければと思います。この一年間、多くの人と知り合いました。私の母は若い頃婦人会(当時)で仲良くなった友人と今でも会食などで楽しそうに過ごしています。私自身、朝のウォーキングで

一年を通して、防犯カメラを前期・三台、後期・十台を設置し平成三十年二月上旬には運用を開始しました。前年度から要所に合わせて計十五台が久尻区の安心・安全と防犯の要になってくれています。この設置には久尻区では防犯カメラ整備検討委員会により各町内会さんからの要望を検討した結果です。設置にあたり、土岐市を始め土地を提供して頂いた皆様にはお礼申し上げます。また、不設置の箇所があるかとは存じますが各町内会から要望を提出していただければ幸いです。久尻区アクアシルバ内のお企業・各社の皆さまの協力添えあつてのものと申しております。(防犯カメラ設置の写真・土岐市北駐車場・西踏切り付近)

火カテナへの更新と非常用電源(バッテリー劣化)の交換を実施して頂きます。

五月、泉町民野球大会が開催され久尻区から十三町内会が参加され、泉が丘三町内会が準優勝でした。お疲れ様でした。六月、災害図上訓練(DIG)を土岐市北消防署防災センターで実施し、多くの町内から三十名近い参加者で久尻区の危険箇所や避難経路の確認をすることができました。土岐可児線道づくり委員会の皆様と県道土岐可児線の天王池付近の交差点と中央道ガード下付近の地点で車庫朝から、二日間と亘り行い、交通量を調査し、又、長年に亘って調査されていることにお礼申し上げます。

今年度においては、自助共助の精神に基づき災害時図上訓練(DIG)、

自助共助の精神に基づき災害時図上訓練(DIG)、

自助共助の精神に基づき災害時図上訓練(DIG)、

自助共助の精神に基づき災害時図上訓練(DIG)、

自助共助の精神に基づき災害時図上訓練(DIG)、

しご報告とさせて頂きまして、ありがとうございます。誠にありがとうございました。

しご報告とさせて頂きまして、誠にありがとうございました。

しご報告とさせて頂きまして、誠にありがとうございました。

しご報告とさせて頂きまして、誠にありがとうございました。

しご報告とさせて頂きまして、誠にありがとうございました。

しご報告とさせて頂きまして、誠にありがとうございました。

しご報告とさせて頂きまして、誠にありがとうございました。

しご報告とさせて頂きまして、誠にありがとうございました。

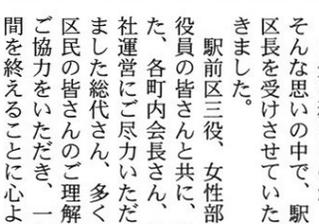
田舎暮らし一年!

駅前区長 加藤 眞臣

自分に務まるのか。そんな思いの中で、駅前区長を受けさせていただきました。

一年を通して、防犯カメラを前期・三台、後期・十台を設置し平成三十年二月上旬には運用を開始しました。前年度から要所に合わせて計十五台が久尻区の安心・安全と防犯の要になってくれています。この設置には久尻区では防犯カメラ整備検討委員会により各町内会さんからの要望を検討した結果です。設置にあたり、土岐市を始め土地を提供して頂いた皆様にはお礼申し上げます。また、不設置の箇所があるかとは存じますが各町内会から要望を提出していただければ幸いです。久尻区アクアシルバ内のお企業・各社の皆さまの協力添えあつてのものと申しております。(防犯カメラ設置の写真・土岐市北駐車場・西踏切り付近)

火カテナへの更新と非常用電源(バッテリー劣化)の交換を実施して頂きます。



防犯カメラ設置

した。いざという時の為に、毎年チェックが欠かせません。

七月、名古屋市防災センターへの研修を実施し、煙避難体験室で煙の特性を理解し、的確な判断に基づく避難姿勢や方法が知り得ました。地震体験室では地震発生メカニズムを知り、震度七クラスの揺れを起震装置で体験して、適切な初期行動に反応できればと思います。

八月、暑い日々、久尻ため池、赤サバ池の草刈りを実施し、刈り取った草は事前に環境センターに許可を頂き、トラックで何回も運び込んで処理しました。力を貸してくださりました皆様にお礼申し上げます。



久尻ため池草刈り

久尻区の三者合同による久尻区草山委員会を開催し、九月から十一月末日まで草山に希望者の募集から入山者確定まで行い、草山を楽しんで頂いたと思います。

九月、AED(普通救命)講習会を北消防署防災センターで開催。多くの町内会さんから三十名近い参加者があり、装置

の電源を入れて音声ガイドダンスに沿った操作による救命処置を、身をもって体験する事ができました。

泉中学校の運動会での各学年リレーは、力走する姿が素晴らしいと思えます。

泉西小学校の運動会は西つ子の学年、種目ごとを懸命に頑張っている姿に一体感を感じました。泉西小学校附属幼稚園の運動会が園庭で開催され、園児たちと保護者のみなさんの表情の豊かさにほっこりさを感じた日となりました。

十月、晴れ渡った青空の下、泉町町民運動会が開催され、泉町全体では二十九町内会が参加。久尻区からは十四町内会が参加され、綱引きやだるまはこびりレール等の競技が行われ、五斗詩東町内会が優勝されました。おめでとうございました。

久尻保育園の運動会が泉西小学校の体育館で行われ、種目名が心をウキウキするようなネーミングで、園児が精一杯動き回っている姿を、微笑ましく過ごせた日となりました。

十一月、久尻区親睦ソフトボールを「めんどう見る会」の協力を頂きまして、十三町内会の参加により二日間で開催し、決勝戦では、郷町町内会と大坪第二町内会が対戦し、接戦を制した郷町町内会が優勝されました。おめでとうございました。



久尻区親睦ソフトボール大会優勝・郷町

によるチャリティーバザーは大盛況でお疲れさまでした。泉西公民館では敷地内で育てた大根等の新鮮野菜を前区長さんと共に販売。完売となりました。ご協力ありがとうございました。

十二月、泉西小学校で六年生出演によるミュージカル「たからものはどこに」が上演されて、生き生きとした表情やピアノの演奏にあつた透き通った歌声に感激し、楽しく観劇させて頂きました。

久尻保育園のクリスマス会では副区長と共にサングラ役、一人一人にプレゼントを渡した時の園児の笑顔が素敵で可愛らしく、心温まるひとときでした。

明けて一月元日の「泉町新春歩け歩け大会。天候にも恵まれて沢山の方達と一緒に、土岐市駅から定林寺・二十二夜碑跡で折り返し泉西公民館までのウォーキングコース。最後の上り坂がやっとで

は雪が残る所もありました。準備体操の後、和気あいあいの中、周回道路をウォーキング。杣つきの餅もふるまわれ、豚汁等も美味しく食し、楽しく過ごすごうございました。

土岐市消防出初式も開催され、式典から始まり音楽隊の演奏による分列行進。一斉放水が土岐川右岸で行われました。各分団の色とりどりの見事な一斉放水でした。

年間お疲れ様でした。役員会、区会、行事、委員会をチームワークの良さを図れたコミュニケーションが大きな喜びとなりました。各町内会長のご協力と区民の皆様のご理解により、一年を乗り切れたことに感謝申し上げます。

区民皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。私自身「感謝の一言です」。ありがとうございます。

一年間を振り返って

泉町連合区女性部長 大橋香代子

春もまだ浅いころ、泉町各区の女性部長さんと初めて顔を合わせ、新年度がスタートしたことを思い出します。それから一年、さまざまな活動を終え、次年度へ引き継いでいく時期を迎えました。

先が見えなくて、不安ばかりの中、五区の女性部長との話し合いを大切に、一つひとつ行事を進めていくことができました。

夏まつり、市民踊り、それに向けた練習の日々、子どもたちの思い出がよみがえったひとときでした。これからも、地域で夏まつりが行われ、子どもたちがふるさとを願っています。

夏まつり、バザーと共に活動してきた各区の女性部の方々と知多方面へ出かけました。伊勢湾を望む高台に建てられた杉本美術館を訪れ、自由でおしゃれな「画伯」と言われた杉本健吉画伯の芸術を鑑賞しました。

平成にわたる九十八年の生涯を、絵とともに生きつづけた杉本画伯の作品からあふれるユーモアに癒やされ、心温まるひとときでした。

このように、連合区女性部の活動を無事に終えることができたのは、連合区役員の皆様、各区女性部の皆様から、お力添えをいただいたおかげです。一年間、本当にありがとうございました。

平成30年度泉町のイベントカレンダー(4月~8月)

Table with 5 columns: 月, イベント, 主催, 開催日, 会場. It lists various events such as school openings, festivals, and sports events throughout the summer months.

※日程・会場は変更される場合があります。詳細は主催者にお問い合わせ下さい。

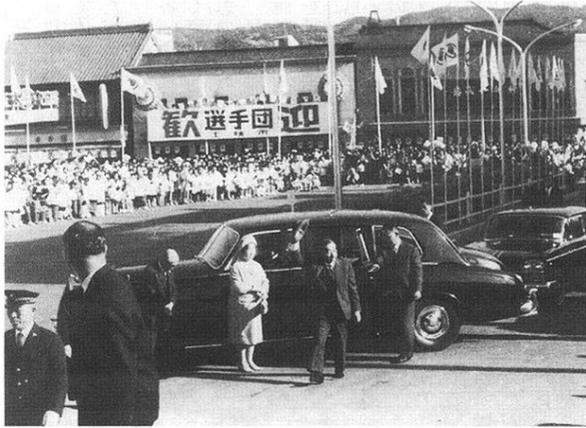
土岐市駅前広場整備とその周辺について

泉議員団团长 和田 悦子

平成二十九年度の役員の皆様一年間たいへんご苦労さまでした。いよいよ新しい役員の方と交替する時期となりました。

さて、土岐市駅前広場も新しく変わろうとしています。昔の土岐市駅を少し紹介します。昭和四十年開催の岐阜国体に合わせ、東濃地方の駅や駅前広場が整備されたそうです。この時に昭和天皇と香淳皇后様がお来訪されました。(写真) 土岐津駅から土岐市駅に改称されたのもこの時期です。

現在の駅舎は昭和四十三年に改装されました。駅前広場は実に半世紀以上が経過し、道路も混雑してきて危険性も増してきております。時代の流れに沿ったバリアフリー化などの改修も迫られ、駅前広場整備事業の運びとなりました。この事業目的は以下の通りです。
①安全性を高める。
②歩行者用のシェルター(屋根)の設置で利便性の向上をはかる。



昭和40年11月5日昭和天皇と香淳皇后様ご来訪 (土岐市駅)

③段差をなくし、誰もが優しいバリアフリーにする。
④土岐市の玄関口につながる魅力ある空間を創る。

事業期間は平成二十七年から五年間。総事業費は約十三億円。今年度工事分のトイレや待合室、パトロール詰所は駅東側に二月に完成しました。これからはいよいよ駅前広場整備工事等にとりかかります。平成三十一年度末の完成を目指しています。

今回、駅前広場はバリアフリー化されますが、市民から要望が出ている駅東側のスロープ道の設置や地下道のバリアフリー化はありません。高齢者や障がいのある方にとって駅利用のしやすい環境を整えていくことが今後の課題です。

なお、駅前を走る県道河合多治見線については、現在、西側を県が拡幅工事を行っていますが、東側については白紙状態です。また、駅から南へ伸びる土岐市停車場線もまだ具体的な進展はありません。

今後、泉議員団は市民の皆さんの声を反映して住みやすいまじりに精進してまいります。忌憚のないご意見をお寄せください。

ふるさと探訪 定林寺「上人塚」伝説

土岐市観光ガイドの会 水野 とみ子

地名は生きた歴史といわれます。

定林寺という地名は、美濃国初代守護職となつた土岐頼貞が、無学祖元を開山として、大富館の鬼門の方角にある河合村に「瑞雲山定林寺」を創建した事から地名に転化したといわれます。

定林寺は古くからの集落で、道幅も狭く入り込んでいます。字名も沢山あります。

定林寺の小字原に「上人塚」がありました。上人とは、知と徳をかねた僧を尊敬して呼ぶことばです。塚というだけで何という上人かわからないでいましたが、昭和三十三年に田中静夫さんが調査した資料をいただいたので、少し書き加えて紹介します。

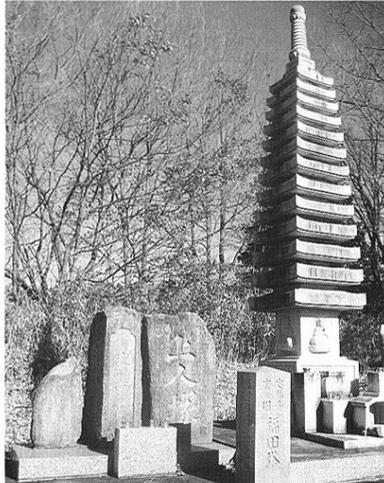
『古老の家の西側より北西角の所、一段高い所にその塚の跡がある。古老が語るには、明治初年頃までは道より十数段の石段があつて塚の前に行く事ができた。塚は四坪位あつて三尺位の盛土があり、その土まんじゅうの上に上人塚と書いた石碑が立っていたという。その塚は定林寺の墓地を整理した時に石碑を移したといひ、石段は崩れ去

れます。資料にも『仏光禅師の分骨を定林寺に葬つた記録が残っているが、そのお墓は見あたらない。上人塚というのが仏光禅師のお墓ではないでしょうか』とあります。

定林寺郵便局前の郷倉橋の橋柱には、泉陶磁器工業組合青年部によつて、定林寺一世仏国師像と観音堂開祖定徳坊像が掲げられています。瑞雲山定林寺は戦国時代武田軍により焼き討ちされ廃寺となるが、百余年後観音堂だけ再建されました。定徳坊は一六七七年に観音堂を再建し開祖となら



定林寺局前橋の定徳坊様



福田塔と上人塚碑

おもしろいな、餅つきって!!
泉の自治だより編集部長 額根 健二
平成二十九年十二月二日(土)、少し寒い中、泉公民館前の駐車場で餅つきをする親子の歓声が起きていた。

この餅つきは、春の田植えから稲刈りまで一年を通して、米作りの厳しさや収穫の喜びを体験する泉公民館主催の「小学生体験講座」の最終幕。地元の人々、関係者の協力を得ながら杵を振り下ろす児童達の顔からは、満足感があふれていた。泉小学校五年生の土本ゆりなさんは「とてもおもしろい!」と、お母さんと一緒に楽しんでいました。餅つきの後は、しめ縄づくりを親子で体験し、最後に関係者と共に「あやもち」「あんころもち」や汁物をいただきながら、楽しかった一日を終えた。なお、この催しは平成二十七年から継続されている行事です。

